



小池都知事は羽田都心ルート推進派！

報道発表資料 2019年08月08日 都市整備局

羽田空港の機能強化に関する知事コメント

本日、国土交通省において、羽田空港における新飛行経路の運用開始・国際線増便が決定されたことを受けて、知事のコメントを発表しましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記



東京都知事 小池百合子

本日、国土交通省により、2020年3月29日から新飛行経路の運用を開始し、羽田空港において、国際線を年間約3.9万回増便することが決定されました。

この間の国や関係自治体などの御尽力に、感謝いたします。

我が国の国際競争力の向上や東京2020大会の円滑な実施のため、羽田空港の機能強化は極めて重要です。

国に対しては、来年春からの導入に向け、必要な手続を着実に進めるとともに、都民の理解がさらに深まるよう、引き続き、丁寧な情報提供や騒音・安全対策を着実に実施するよう求めており、都として今後とも積極的に協力してまいります。

羽田増便・低空飛行
が危険な理由

- ①世界に例をみない、ジェットコースターのような急角度（3.45度）で侵入しなければならない。（安全な降下角度は3.0度が世界の標準）
- ②羽田空港への着陸ルートの西側にある米軍横田基地空域への侵入を避けるため、急旋回しなければならないという、世界でも例のない飛行方式を採用しなければならない。

③長距離国際線の空港を郊外から都心へ再移転するという世界の流れに逆行する決定。

- (1) 人口密集地で、落下物による人的・物的被害が発生する。
- (2) 急角度の滑走路への侵入による機体の尻もち事故などの着陸事故が多発する。
- (3) 都心人口密集地での低空飛行により、騒音被害を引き起こす。
- (4) 住民の民意を無視した行政手法

※上記は以下の書籍から一部抜粋しました。

「パイロットは知っている 羽田増便・都心低空飛行がこれだけ危険な理由」杉江弘著



羽田空港新ルート低空飛行の
実施に反対します～
都民の命と暮らしを守ります

